

KAWASAKI STEEL GIHO

Vol.27 (1995) No.2

---

Personal Computer Networking System to Assist Staff Job

(Keita Harada)

(Akira Harimoto)

(Kenji Makabe)

---

:

---

Synopsis :

Kawasaki Steel has developed the personal computer networking system which realizes the speedier job of the staff. This system, based on the data-base of the main-frame and

# スタッフ部門の情報活用と業務効率化 支援システム\*

川崎製鉄技報  
27 (1995) 2, 110-114

## Personal Computer Networking System to Assist Staff Job



原田 敬太

Keita Harada

水島製鉄所 企画部シ  
ステム室 主査 (課長  
補)



播本 彰

Akira Harimoto

水島製鉄所 企画部シ  
ステム室長



真壁 健治

Kenji Makabe

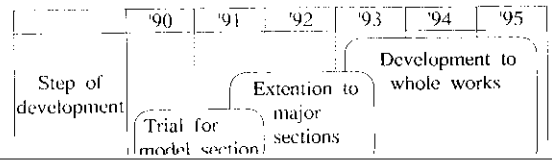
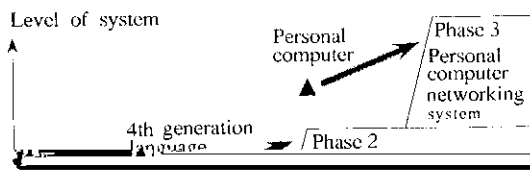
川鉄情報システム(株)  
千葉事業所 主任部長  
(主席課長)

### 要旨

川崎製鉄では、管理・スタッフ部門の生産性向上施策としてスタッフ支援システムの構築に取り組んできた。これは、従来より基幹システムで構築してきたデータベースに加え、多機能パソコン、ワークステーション、ネットワークといった最新の情報インフラを整備し、スタッフの各種業務を情報システム面から支援しようとするものである。飛躍的にパソコン台数は増加しており、すでにシステム化の進んだ部門では、省力や生産性向上に大きく寄与している。また、情報の共用化も部門単位から事業所レベルにまで発展してきた。

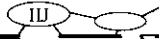
### Synopsis:

Keywords: Information System, Staff Support, Productivity Improvement, PC Networking, Data Base, Work Station, Network



Mizushima

Internet



KeyServer の効用は、①ソフトウェア費用の抑止、②違法コピー

(3) ネットワークを利用したコミュニケーション効率化

事務部門では、メイン業務は基幹システムでカバーされているものの、その入力のための情報収集や、出力帳票の配布な

システムの機能は以下のとおりである。

(1) 管理・解析支援システム

階層別に操業管理や問題分析に必要な機能とデータベースを

電子メールを活用することで改善が期待される。

(2) ドキュメント作成システム

ェアの導入により、仕事のやり方そのものの改善が図れる。川崎製鉄でもセクタ方式（品種別原価管理方式）の導入や、本社業務のスリム化などの動きがあり、これに呼応して従来の仕事のやり方を IT を利用して改善していく必要が強まってきた。製鉄原料需給調整システムは、この先駆者的試みである。

(3) ドキュメント管理システム

情報サーバを導入し、共通のファイリング体系を整備。

このうち、プロセス制御のレベル管理や異常発生時の原因究明に威力を発揮している板厚不良時の要因展開の仕組みを Fig. 6 に示す。

このシステムにより、データ収集・加工ならびにドキュメント作

幹部の閲覧実績がわかるような管理機能を用意している。さらに情報は幹部限定/部長クラス限定/フリーと3段階のアクセス階層を設けている。

開発はプロトタイピングで行った。また、地区間をまたがっての

